

2021.7.15 (木)

価値あることに歩み始めた6年生のみなさんへ

～ 最高学年として、4月から学校の中心となり動く姿 ありがとう ～

一つ変わろう！自分を、仲間を高める姿 一步踏み出そう！



左の写真は、私が好きな写真です。
1年生を迎える会の明郷小学校の伝統（財産）を、1年生に紹介したときのリーダーを、後ろの仲間が支えた瞬間だと思います。令和3年度初めに、最高学年としての変化を感じるものでした。「新1年生の前ではいいけど、6年生の前だと何か恥ずかしくて嫌だ」、「目立ちたくない」、「なんでそろってやらないといけないのか」「めんどくさい」など、様々な思いをもちながら、

リーダーを支えるフォロワー、仲間との呼応の関係を、築こうと一步踏み出したときだと感じました。



6年生のみなさんの4月から全校のために動いてきたことを振り返りながら、仲間や学校のために、進んで動くことが自分を高め、自分の様々な力を伸ばすことにつながることを確認したいです。



春休みだけど、学校に来て、入学式を少しでも思い出に残るよう6年生の参加、話す内容を仲間と考え、ビデオ撮影をしました。初めは恥ずかしがり、精一杯に演技できなかったけど、ポーズを工夫したりアイデアを出し合ったりしていると、笑顔が出てきて演技も大きくなり、楽しく撮影ができました。

学校が始まると、1年生のお世話係として、生徒玄関に立ち1年生を迎えました。やさしく接することで、1年生は安心して楽しく登校できるようになりました。



4月、明郷小の財産「あいさつ」を広げよう、誰とでも声をかけられる安心できる学校をつくろうと、あいさつ運動をする子が出てきました。自分たちで考えた「あいさつ隊」は、下の学年にも広がりました。Aさんは、Bさんたちと門に立ち、朝早くからあいさつで迎えています。「係でもないのになぜ続けるのか？」質問したことがあります。答えを見つけ



ようと考える姿がうれしかったです。続けることで本物になります。「継続は力なり。宝なり。」です。

いじめについて、あたたかく笑顔がいっぱいの学校づくりについて考え、全校に呼びかけ働きかける姿がありました。5月の「いじめを見逃さない日」の全校放送では、6年生として、どんな学校にしたいか、自分は何をするのかを、CさんとDさんが話しました。Dさんの「先生の話聞いて、価値あることを行いたいと思いました。」は、今回の話の題に取り上げるほど、心に残っています。このことで、日常生活でも言い合いや嫌な言葉が減ったように思います。

なかよし活動、全校児童が親しく楽しく活動できるように、一人ひとりがリーダーとなり、活動する思いや姿がいいですね。自分が楽しいだけでなく、まわりを楽しくする力が出てきています。

プール掃除、汚いプールを一生懸命に掃除する姿がありました。Eさんの頑張る姿、「ここ汚れているから」と言うと、素直に磨くFさんやGさんなどの姿、おかげで、2年ぶりの水泳、水遊びができています。

そうじ時間の「校長先生助け隊」は、側溝の掃除、中庭畑やまわり、花壇の草取り、ブランコ下の整地など、学校美化につながりました。そんな中で、黙々と働くHさんの姿に感心しました。保健室の先生に、言葉は少ないけど、誠実に仕事を行うやさしい彼女のよさを教えてもらいました。今は、Iさんの姿がちょっといいなと感じています。

しかし、まだ言われたことを行うことができる段階（これでも大きな成長ですが）、これからは、価値あることを自ら求め、進んでよいと考えることをやってみる力、続けて自信につなげられるようになってほしいです。

今、私がいいなと思っているのは、岐阜市陸上記録会に出場を決め、朝から汗を流す姿です。得意かどうかは分かりませんが、「えらいけど」、「めんどくさい」ととどまらず、自分の力を伸ばそうと努力する心と姿は、いろいろな場面に生きてくると思います。頑張ってください。

◎開校10周年記念プロジェクト「地域の公園に大きな絵をかこう」の制作作業への協力、お願いします。

◎7月は、「社会を明るくする運動」強調月間です。更生を支え、犯罪のない明るい社会をつくるために努力している、保護司などのボランティアがいることを知っておいてください。（世界で日本だけの制度だそうです。）